

核兵器禁止条約実現へ

「国連会議」7日採択へ

史上初めて核兵器の使用、開発、所有などを禁止する核兵器禁止条約の採択に向けて、ニューヨークの国連本部で交渉会議（第2会期）が開かれています。100カ国以上の代表と世界の反核・平和NGO（非政府組織）、日本の被爆者らが5月に発表された条約草案を討議。閉会の7日までに採択される予定です。

条約草案は、▽核兵器の「開発、生産、製造、取得、所有、貯蔵、移転、

核を違法化、「悪の烙印」

受領、使用、核爆発実験」などを禁止▽締約国は領土などへの核兵器の「配置、導入、配備」などを禁止する義務を負う—としています。核兵器を違法化し、「悪の烙印」を押す内容です。

志位委員長が参加

この会議に日本共産党の志位和夫委員長が「核軍縮・不拡散議員連盟」の一員として参加。会議の成功と条約採択に向けた要請を行います。

日本共産党



共産勝利 自民惨敗

17⇒19議席



都議選

解散・総選挙で信を問え

「今度ばかりはこらしめたい」

「今度ばかりは安倍政権をこらしめたい」—2日、投開票された東京都議選は、自民党が過去最低の23議席という大惨敗。国政でも都政でも、自民党に最も厳しく対決してきた日本共産党は、17議席から19議席へ上積みする重要な躍進を果たしました。

自民党が前回議席の半分にも届かない歴史的敗北に追い込まれたのは、民意に反する暴挙を重ね、傲慢きわまる安倍政権に都民が怒りを爆発させた

日本共産党

からです。日本共産党には、この怒りを受け止める確かな力として大きな期待が寄せられました。

臨時国会開催を

安倍首相は首都の審判を受け、臨時国会を開催するとともに、自民党改憲案づくりを断念すべきです。都民は安倍政権にレッドカードを突き付けました。日本共産党は速やかな解散・総選挙を強く求めます。

志位委員長、小池書記局長、19の党議席を獲得した各氏らによる緊急街頭演説会 11月3日、東京・新宿駅西口

折り目